

コミわか役員人権研修会「基礎学習会」が開催されました

5月18日(土)にコミわか役員対象の人権に関する基礎学習会が、開催されました。

講師に長野市人権男女共同参画課指導主事の渡邊美樹先生をお招きし「無意識から生じる人権問題」という演題で講演していただきました。

なぜ人権問題を知ることや学ぶことが大切なのでしょう？→人権は自分の生活を理由なく侵害されず、人として生きていくことのできる権利です。

無意識の偏見とは？→自分の過去の経験や知識、人の属性などで、知らず知らずのうちに物事を決めつけてしまうことです。

などを分かりやすくお話ししていただきました。

この研修会の内容をふまえ、各区の人権啓発委員の皆さんを通じて、多くの皆様に知っていただきたいと思えます。(人権教育部会)



令和6年度 戦没者追悼式が開催されました

明治以来様々な戦争に出征し、戦地で亡くなられた若槻地区260余名の戦没者追悼式は6月14日(金)うわの公民館にて5年ぶりに執り行われました。



ご遺族をはじめ、ご来賓、コミわか正副会長、区長部

の総勢50名ほどが出席し、国家斉唱・黙祷に続き、コミわか会長の式辞、長野市議会議員 滝沢真一様と遺族会会長 水上真夫様により追悼の言葉を捧げました。最後に全員で献花を行い閉式しました。

式辞では、「今日の平和と幸せな生活が、戦没者の皆様の命を掛けた尊い犠牲の上に築かれていることを戦争を知らない世代に語り伝えていくとともに、平和な世界と美しい故郷を次の世代に引き継いでいく責務がある」と述べられました。

また遺族会長は「戦後の高度成長に人間が追いつくことが出来ず社会にひずみが生じ、物の豊かさに反して心が貧しくなってしまったと感じている。この追悼式は過去の出来事を振り返り、現在の世の中



についても反省や間違いをただすことを考える機会としたい」と述べられ、改めて平和への誓いを新たにしました。

ホタル学習会開催

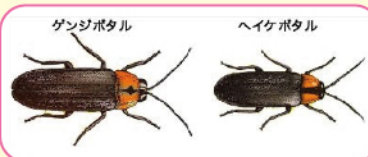
6月12日(水)19:00～コミュニティセンター大会議室にて、令和6年度ホタルウィーク開催に向けた取り組みの一つであるホタル学習会を参加者13



名が集まり実施致しました。講師として、ほたるサポーターズクラブ会長大村氏を迎えて、ホタルの一生、ホタルの保護保全と観賞マナーの2点をテーマに講演して頂きました。

【ホタルの一生について】

ヘイケボタルとゲンジボタルの相違点：ヘイケボタルは7～12mm、ゲンジボタルは13～18mm、発光器の数：雌1節、雄は2節、ヘイケボタルの胸の紋様：縦の太い一文字、ゲンジボタルの胸の紋様：十文字、幼虫期の食べ物はお存知とは思いますがカワニナです。ヘイケボタルは、タニシ・ミミズ・ナメクジなども捕食するとの事。日中は、川岸の雑木林や草むらの中の陽の当たらない涼しい葉影でじっとしている。日没から凡そ30分後に光始める。ピークは、生息環境にもよるが、午後8時前後、午前0時前後、午前3時前後であり、午後8時前後が最も数が多く活発で長く活動する。



【保護保全と観賞マナーについて】

川とその流域、川の水質を守り、ゴミを投げ捨てない。ホタルに向かって懐中電灯、車のライト等の光を向けない。主催者が指定した観賞路の範囲、観賞時間などのルールを守る事など、ホタル全般を再認識する事が出来た学習会でした。(自然環境部会)



皇月かがやき子ども園の園児の皆さんとさつまいも苗を植えました

6月7日(金)徳間のコミわか農園で皇月かがやき子ども園の園児の皆さんと、恒例となっているさつまいも苗の植え付け体験交流を行いました。グリーン倶楽部から10名、JA吉田の本藤支所長はじめ5名の職員と皇月かがやき子ども園の園児約60名の総勢80名位で午前10時より、およそ1時間弱の作業を行いました。約300本の苗を1本ずつ植え、各自持参したペットボトルの水をたっぷり与えていました。

収穫は10月に予定していますが、その時は又大勢の園児達と楽しくワイワイ収穫しようと思っています。10月が楽しみだなあ！(コミわかグリーン倶楽部)

